

決算特別委員会資料

議案第101号

令和元年度北九州市一般会計決算（消防局所管分）について

1	歳入決算額	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
2	歳出決算額	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
参考	消防局主要事務事業の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3

消防局

令和元年度北九州市一般会計決算（消防局所管分）について

1 歳入決算額

（単位：円）

款	項	目	節	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額
17	1	11	1 消防使用料	784,000	635,423	635,423	0
	2	9	1 消防手数料	36,544,000	34,736,275	34,736,275	0
18	1	3	1 消防費負担金(国)	4,489,000	0	0	0
	2	11	1 消防費補助金(国)	11,982,000	8,721,000	8,721,000	0
	3	5	1 消防費委託金	3,000,000	2,689,720	2,689,720	0
19	1	8	1 消防費負担金(県)	108,000	124,000	124,000	0
	2	8	1 消防費補助金(県)	105,186,000	104,947,000	104,947,000	0
20	1	1	1 土地貸付収入	2,411,000	2,356,920	2,356,920	0
			2 建物貸付収入	5,018,000	3,874,476	3,874,476	0
24	6	2	6 消防費弁償金	0	22,000	22,000	0
		4	30 消防費雑入	101,635,000	114,295,200	114,295,200	0
25	1	10	1 消防債	1,890,100,000	1,825,900,000	1,825,900,000	0
合計				2,161,257,000	2,098,302,014	2,098,302,014	0

2 歳出決算額

（単位：円）

12款 1項 消 防 費	予 算 現 額					支出済額	不用額
	当 初 予算額	補 正 予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予備費支出 及び 流用増減	計		
1目 消防職員費	9,380,768,000	146,931,000	0	0	9,527,699,000	9,429,305,634	98,393,366
2目 常備消防費	831,558,000	58,852,000	0	△ 16,955,000	873,455,000	842,148,943	31,306,057
3目 非常備消防費	433,984,000	0	0	0	433,984,000	387,571,604	46,412,396
4目 消防施設費	2,320,481,000	0	119,817,000	16,955,000	2,457,253,000	2,377,874,188	79,378,812
合 計	12,966,791,000	205,783,000	119,817,000	0	13,292,391,000	13,036,900,369	255,490,631

消防局主要事務事業の概要

(単位:千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
地域の総合的な災害対応力の強化	① 消防団の充実強化 【3目 非常備消防費】 【4目 消防施設費】	消防団施設の建替えによる耐震化を計画的に進めるとともに、消防団装備の充実強化を図った。 また、消防団員の活動等を積極的にPRし、消防団員とその家族が特典を受けられる「消防団応援の店」の普及と拡充を推進するなど、地域ぐるみで消防団を支える機運を高めることにより、消防団への入団促進を図った。 ◆小倉南消防団第14分団本部新築(徳力一丁目) ◆八幡東消防団第3分団本部新築(春の町二丁目) ◆活動服340着、防火衣170着を整備	123,041
	② 市民防災活動への支援 【2目 常備消防費】	校区の会長や町内会長等を対象に、防災リーダー研修を実施するなど、地域の自主防災力向上のための支援・指導を行った。 また、地域ぐるみで開催される消防訓練等を通じて、市民の主体的な自助・共助意識の醸成を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進した。	6,330
	③ 応急手当の普及啓発活動の推進 【2目 常備消防費】	市民の救命効果の向上を図るため、AEDの活用を含めた応急手当の普及啓発活動を積極的に推進するとともに、救急車の適正利用について、メディアを活用した啓発活動を行った。	2,123
高齢者等要配慮者の安全・安心対策の推進	④ あんしん通報システム 緊急通報システム 【2目 常備消防費】	一人暮らし高齢者世帯等で発生した火災等の緊急時に即応する「緊急通報システム」の利用者について、相談機能や緊急時の駆け付け体制を強化した「あんしん通報システム」への移行が完了した。 ◆令和元年度 あんしん通報システム稼動数 2,764台	19,952 ※上記の他、 保健福祉局所管分 (介護保険特別会計) 46,090
	⑤ いきいき安心訪問の推進 【3目 非常備消防費】	介護職員初任者研修を修了した消防団員が中心となり、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災や家庭内での事故防止の指導、簡単な身の回りのお世話を行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、高齢者の安全・安心の向上を図った。 ◆令和元年度 訪問世帯数 1,848世帯	6,737
	⑥ 住宅防火対策の推進 【2目 常備消防費】	住宅火災による死者の発生を防ぐため、設置義務化から10年以上が経過した住宅用火災警報器の適切な維持管理と交換について、啓発を強化するなど高齢者世帯等を中心とした住宅防火対策を推進した。	701
	⑦ Net119緊急通報システム 【4目 消防施設費】	119番通報が困難な聴覚や言語機能に障害のある方などが、外出先からでも、スマートフォン等の簡単な操作で119番通報ができるシステムを整備した。 ◆運用開始:令和2年3月2日	296

(単位:千円)

あらゆる災害に対応できる消防力の強化	⑧ 水難救助用資器材整備事業 【4目 消防施設費】	近年の豪雨災害における教訓を踏まえ、安全かつ迅速に人命救助活動を行うため、水難救助隊員の潜水用のスーツや救助隊員が着用する水防服等を整備し、災害対応力の強化を図った。	5,811
	⑨ 救急体制の充実強化 【2目 常備消防費】	救急救命士の処置拡大に伴い、12名に追加講習を受講させるとともに、新たに9名の救急救命士を養成し、救急体制の充実強化を図った。	16,807
	⑩ あかきゅう警防小隊用AEDの更新 【4目 消防施設費】	警防小隊による救急活動(あかきゅう)に必要なAEDが耐用年数を迎えるため、全36台分を更新した。	12,295
	⑪ 消防局画像伝送システム更新 【4目 消防施設費】	経年劣化した高所監視カメラ設備を更新し、災害発生時における情報収集体制の充実・強化を図った。 ◆竣工日:令和2年3月6日	139,742
	⑫ 第49回全国消防救助技術大会の開催 【2目 常備消防費】	令和2年10月の開催に向けて、全国の消防救助隊員が一堂に会して人命救助の技術を競う大会の実行委員会を組織し、運営体制を構築した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から令和3年度に延期することになった。(勝山公園(小倉北区)と桃園市民プール(八幡東区)で実施予定。)	2,998
消防署所等の消防力整備	⑬ 八幡西消防署の移転新築 【4目 消防施設費】	八幡西区の消防力の強化を図るため、老朽化した八幡西消防署の移転新築を行った。 ◆令和2年2月22日 供用開始	816,537
	⑭ (仮称)楠橋分署の移転新築 【4目 消防施設費】	八幡西区南部の消防力の強化を図るため、老朽化した楠橋分署の移転新築に向けて、実施設計と擁壁工事を行った。 ◆令和2年度末 竣工予定	39,695
	⑮ (仮称)島郷分署の移転新築 【4目 消防施設費】	若松消防署ひびきの分署新築に伴い、若松区の消防力適正配置の観点から、老朽化した島郷分署と藤ノ木分署を統合し、移転新築を行うため、実施設計を行った。 ◆令和2年度末 竣工予定	22,595
	⑯ 消防団施設の耐震化 【4目 消防施設費】	防災拠点となる消防団施設の耐震化を促進するため、耐震診断の結果に基づき、耐震補強工事を行った。 ◆小倉北消防団第7分団本部(上到津二丁目) ◆戸畑消防団第3分団本部(新池二丁目)	8,905